

# 生理のこと男女一緒に学ぶ



生理用ナプキンにスポイトで水を垂らし吸水量を調べる児童たち。奈良市あやめ池北一丁目の近畿大付属小

生理(月経)について、きちんと知ろう……。橿原市の下着メーカー「タカギ」が県内の小学校で出張授業をしている。性別に関係なく必要な知識として届けようと工夫をこらす。

1月23日、奈良市の近畿大付属小では4年生の男女計95人がクラス別に学んだ。

「生理って知ってるかな？」と講師が問いかけると、男子を中心に「知らない」との声。

講師は女性の体の仕組みや、ナプキンの機能など、手際よく説明していく。

「修学旅行中に下着やズボンに血がついたらどんな気分になるかな」と問うと、「どうしよう」「恥ずかしい」との声が上がった。

## 橿原の下着メーカー 小学校で出張授業

「血が出ることに少なからず驚いた様子だったが、抵抗感なく受け止めていた。学ぶのによいタイミングだったと思う」と話していた。

タカギは生理用ショーツの製造を長年手がけており、生理に関する知識を広めたいとして、2018年から社会貢献活動として県内の小学校を回り、出張授業は約20回に上る。

同社の草間美帆取締役は、男子児童に何を知ってもらおうか、女子と男子が一緒に学ぶ抵抗感をどう軽減するか試行錯誤してきたと話す。「授業後のアンケートで『男子と一緒に学ぶことで困ったときに助けてもらえそう』といった女子の反応が多く、励みになっている。授業で聞いたことがいつかどこかで役に立ってほしい」という。(机美鈴)

## 「知っておいた方がよい」「助けてもらえそう」

担当の伊藤友佑教諭は「血が出ることに少なからず驚いた様子だったが、抵抗感なく受け止めていた。学ぶのによいタイミングだったと思う」と話していた。タカギは生理用ショーツの製造を長年手がけており、生理に関する知識を広めたいとして、2018年から社会貢献活動として県内の小学校を回り、出張授業は約20回に上る。同社の草間美帆取締役は、男子児童に何を知ってもらおうか、女子と男子が一緒に学ぶ抵抗感をどう軽減するか試行錯誤してきたと話す。「授業後のアンケートで『男子と一緒に学ぶことで困ったときに助けてもらえそう』といった女子の反応が多く、励みになっている。授業で聞いたことがいつかどこかで役に立ってほしい」という。(机美鈴)